第 37 回

農業委員会総会議事録

平成 26 年 7 月 18 日(金)

幕別町農業委員会

第 37 回幕別町農業委員会総会議事録

1　開催日時　　平成 26 年 7 月 18 日（金）午後 3 時 57 分から午後 4 時 45 分まで

2　開催場所　　幕別町役場 5 階会議室

3　出席委員（23 名）

会長	25 番	杉坂　達男
会長職務代理者	24 番	谷内　雅貴
委員	1 番	国枝　隆幸
	2 番	香西　浩志
	3 番	前川　厚司
	5 番	大道　健實
	6 番	小原喜久雄
	7 番	石川　雅洋
	8 番	尾藤　欣二
	9 番	向井　知己
	11 番	鯖戸　英明
	12 番	田邊　忠幸
	13 番	髙橋　秀樹
	14 番	鬼頭　良市
	15 番	東口　政秋
	16 番	蛯原　一治
	17 番	森　　勤子
	18 番	中島　　孝
	19 番	白木　孝和
	20 番	岡崎　　稔
	21 番	宗廣　武夫
	22 番	加藤　　宏
	23 番	齊藤　一男

4　欠席委員（２名）

	4 番	大野　和也
	10 番	杉本　義昭

5　議事日程

1)　開会
2)　議事録署名委員の指名
3)　諸般の報告
4)　報告
　第１号　農業委員会改革に係る北海道ブロック会議について
　第２号　農地の賃貸借契約の合意解約通知の受理について
　第３号　農地法第５条の規定による許可について
　第４号　農地基本台帳整備に係る現況地目の確認について

5)　議案
　第１号　農業経営基盤強化促進法第 18 条の規定による農用地利用集積計画の決定について

第２号　　農地法第３条の規定による許可申請について
第３号　　農地法第４条の規定による許可申請について
第４号　　現況証明について

６　農業委員会事務局職員

事務局長	髙橋　宏邦
忠類支局長	天羽　　徹
農地振興係長	鯨岡　　健
忠類支局農地振興係長	伊藤　憲彦
農地振興係主査	佐瀬　洋美
農地振興係主事	川本　貴士

７　会議の概要

議長	それでは定足数に達しておりますから､ただいまから第 37 回農業委員会総会を開催いたします。
議長	次に議事録署名委員を規則により指名をいたします。１番国枝委員、２番香西委員にお願いをいたします。
議長	次に諸般の報告を申し上げます。
事務局	諸般の報告を申し上げます。会議規則第４条の規定により４番大野委員、10 番杉本委員より欠席する旨の届出がございましたので報告いたします。
議長	それでは報告第１号「農業委員会改革に係る北海道ブロック会議について」を議題といたします。本件につきましては私の方からご報告を申し上げます。今回のブロック会議は北海道を２つに分けまして、札幌と帯広でそれぞれ開催されました。7 月 11 日が帯広の会場でありまして、十勝農委連はこの会場に出席をいたしました。順次報告を申し上げます。まず１から４までの資料がお手元に届いていると思いますが、まず資料の１であります。規制改革委員会が作りました実施計画をご覧ください。ご存知のとおり政府与党、自民党・公明党は中間管理機構の設置を第一歩とする規制改革実施計画を６月 24 日に閣議で決定をいたしました。16 ページになります。農業委員会等の見直しにつきましては､選挙の選任方法の見直しから転用利益の地域の農業への還元まで 10 項目にわたる個別措置が発表されました。11 日の説明会では、これらについて農林水産省から農地政策課長という立場の役人が来られて説明をされました。様々な観点から規制改革会議が作ったものについての閣議決定内容を報告したということではありますが、私個人的にもそうでありますが、もうこれは決まったものであると、どちらかというとあまり周りの意見というのは徴しないでも、この報告をすることによってその使命を果たされると、いわば上から目線のような気もいたしました。それもそのはずであります。閣議決定した内容でありますから、それなりの重みは当然あるんだと思います。従って我々がこれまでずっと求めてきたものにつきましても､具体的に言うと本件の内容については、北海道選出の国会議員の皆さんにも了承を得て、あるいは全国農業会議所の会

長にも了承を得ていると、このように言われますと、あなた方から何も言われなくてもいいんだと言わんばかりの説明の内容でありますから極めて遺憾でありました。この類の説明会というのは、この本件に限らず国から持ってきて報告するものについては、こういうやり方かなと思いますが、そのように報告がされました。各市町村の農業委員会の会長、あるいは事務局からは北海道農業と府県農業との違いや所有権の移転を重点的に進めてきた結果、北海道は担い手の農地集積率が 80%以上に達している、そういったことについてもこの課長に申し上げましたが、それがどうのこうのと言うことにはなり得ないとは思いますが、意見は厳しく出されまして、非常に説明会の雰囲気としては険悪な説明会となりました。ただ、札幌での説明会ではほとんど意見が無かったと言うことでありました。また、札幌では事務局長の出席が多くて、各市町村の農業委員会会長の出席はわずかであったという報告も受けております。いわばそこまで行ってしまったのかというような感じで受け止められたのかなと思いますが、帯広会場では確かに 87 農業委員会対象だったのですが、40 余りの会長が出席しておりましたから、札幌よりは本気度が高いなという感じはいたしました。資料４をご覧ください。これはこれから先、色々なブレーキがかかっているんですが、それぞれの農委連で意見を取りまとめまして、今月の 18 日、今日までにそれらを取りまとめるという内容の意見集約の仕方であります。逆算しますと７月 18 日までに取りまとめなければ先々が開けてこないと言うようなことでありますから 18 日までと組織決定したことになりました。これは本来であれば本町の農業委員会につきましても、農政部会に付託をして内容をよく精査して議論の上で意見集約という形になるのが本来ではありますが、いかんせん時間がありませんでしたので、会長専決で後で申し上げます内容にまとめて本町の意見として提出をしたというような次第であります。この中で話が前後いたしますが、本会がまとめた意見を事後承認頂くという形になって大変恐縮ですが、一つには公選制の持つ代表制の確保をしなさいというような内容であります。いわゆる今までどおりの選挙で代表を選ぶ。これが本来的な地域と農業委員会との信頼関係を結ぶ大きなことではないかと意見を出しました。これはご存知のように推薦制にする、今までのそれぞれの組織推薦は無くす、しかも定数を減らすというようなことがこれまで取沙汰されているところであります。次に農地の利用最適化推進委員という委員を作るということであります。これは国が言っているわけですが、それぞれの地域に適した委員数を確保するということでありますから多分、この人数分くらいの委員が義務として置くことになろうかと思います。従ってどういう扱いになるのか今まで我々が一貫してそれを全部仕事の上で進めてきましたが、そうではなしに特別な立場に推薦された委員が出来て、この委員が流動化等についての仕事を進めていくことを主として考えている制度のようであります。これは兼任をするとかではなくて必ず置きなさいという設置義務を課すことであります。その次には農業会議、農業会議所制度の見直しというのは、これまで言われておりますように、無くすということから、法人の形でこれまで行政機関としてのトップ機関として存在していた訳ですが、無にする。一般的な組織を想定してこの機関は機関としてでは無くて法人としての組織にしてしまう、と言うようなことであります。その次が建議等業務の見直し、これは見直しどころか取り払おうと言うんですね。もうあなた方からは意見はいらない。意見も諮問もしない。言い換えればこういうことでありますから組織の力を、ここで骨を抜いてしまうということですね。今まできちんと法律の中で守られていたものが無くなるということであります。様々な論点があるわけでありますけれども、今申し上げたことが無くならないように、存在が消えないようにしてもらいたいというのがこの４つ

にまとめられた本町農業委員会の意見として農委連に出したということの内容であります。話がよくまとまっていなくて恐縮ですが、国はどのような日程を考えているのかというのが資料の２ですね。報告第１号資料２というのがありますが、これに沿って国が進めています。山場となる時期はだいたい 11 月末からであります。そして今国が想定している新しい制度を実際に施行しようとするのは 27 年の後半､来年度の後半には新しい制度にもっていこうとしています。こういう極めて短い期間に結論を出してしまう、新制度に施行するという早急な日程が組まれております。この前の報告のときに一緒に説明されたことであります。いずれにしましても今回の農業改革、農協と合わせた農業改革がどんどん進められているという実態が明らかになりました。我々末端にいる、言ってみれば国民的立場で考えるよりははるかに国の方では進めていることになります。今４つ程にまとめて本町から意見を出しましたが全国の組織の中でどのようにまとめられて、この意見が繁栄できるのか、極めて疑問なところがあるような気がします。極めて悲観的なことだけ申し上げたように思いますが、実態としてはそうなんだと言うことをご理解頂ければと思います。以上かいつまんで報告をいたしました。色々ご質問等があろうかと思いますから、遠慮なくご質問を頂きたいと思います。我々もずっと早くから感じていましたが、北海道農業というのは特別扱いされておりません。農業政策ではもう柱はやっぱり府県農業。米農政であったということを今更ながら知らされた思いがします。特にこの段階でございませんか。

16 番　　会長が色々お話して頂きましたけども、農業委員の公選制を廃止して、任命という形になるのか。その公選制の廃止というのは何を根拠に公選が駄目だと言うのか。その辺の意図がわからないですよね。会長に聞くのはやぶさかな話ですけども、次に考えるのは首都では教育委員まで公選制という話が出ている時に、なぜ公選制を任命にしなければならないのか。その辺の意図というのが僕にはわからないんですけど。

議長　　まさしくそのとおりであります。これは全国の農業者が言っていることだと思いますが、国が言うなぜ公選制が駄目だと言うのは公選制では公平な選任が出来ていないと言うんですね。例えば選挙をやらなかったり、持ち回りでやってみたりすると。それからもう１つ、府県農業は言葉の使い方が適当でありませんが、爺さん母さんの中心の農業ですよね。そうすると農業委員は名誉職だというんですね。そういう格段の考え方の違いが出来てきている。それを国は鵜呑みにしている。今のやり方では公平に選ばれてないぞと、こういう結論を先走って我々に上からかぶせると。こういう姿です。ですから公選こそが地域との信頼関係を結び、またその委員に託する。よく言われるようにそれぞれの農家の皆さんの資産を、ああすれこうすれと言うようなことを、我々はやっているということ自体は信頼関係が生まれてなければそういうことになりません。そういうことをどうして理解されないかなというのが今、蛯原委員が言われたようになぜ駄目なのですかと。私も同じです。答えにはなりませんが。

３番　　規制改革に対してどういう影響があるのか。農業者、それから農業会議、農業委員のメンバー。組織の中でどういう影響があるのかが、個々ではこう言う影響があるだろうなとわかっているんですけど、具体的に示されて無いというか公表されてない。こういう影響があるんだよ。こういうことが出来なくなるんだよ、というのが具体的に出て無いというのが少し問題かなと感じはしているので、次回までには農業委員の中で、こういうことになるとこういうメリッ

ト・デメリットがあるんだよと何か示してもらえれば。

議長　　わかりました。中心になることを我々は４つにまとめてしまっているわけですが、これ以外にでも 10 項目ほど会議は出してきていますから、これらも含めて実態としてこんな姿になるよということをやがてもっと私が説明するより明らかに明瞭な形で出てくると思います。その段階まで若干の時間を頂戴したいと思います。他にございませんか。

16 番　　今、色々会長言われたように問題が出てきて、それを仮に法律を作る国との話をする場というのか、各農業会議とか、そういう連合会みたいな組織がたくさんありますよね。そういうところの中で話はもって上がっているんですか。それとも上意下達でこうですよって決められたとおりに行くのか、その辺の過程が、来年の通常国会に法案が仮に出るとしてね、その間に組織としての中身についてもっと詰めた話というのはもっていけるんですか。

議長　　個人的に言います。無理です。ここまで来ちゃうと、詰まってしまっていますから、この 18 日までという早急なお話になること自体も極めて遺憾だし、どうしてここまでなっちゃったんだと言うことになるんですけれども、その前もさっき説明しましたが６月 24 日に閣議で決めて発表した。それを各府県、北海道を含めた各都道府県に説明した。というのが７月の 10 日か 11 日ですから、全国でやっている訳です。そこから急いで８月８日までに意見集約をすると、北海道は８月８日に新しい体制での総会が確立します。体制が決まります。そこで意見を集約して今度は全国の農業会議にもっていく。そこから先２ヶ月、３ヶ月の間、11 月にはですね、規制改革会議はもっと詰めた話はすると言っている訳ですから、来年の国会１月ですね、これに向けてどんどん進める訳ですよ。ですから今我々がこういう末端で色んな意見をかなり強く持って行っても、中々そこは成就するような形にはですね、私は個人的に難しいと思います。

16 番　　６月 24 日に決定されたからといって、それがそのまま通るとは限らない。それに対する仮に抵抗する。そういう時間というのは十分取れると思うんですけど、それは国会議員に要請するのも一つの方法だと思いますしね。やっぱり本州の方は僕もわからないです。北海道を見た限りでは言われてることだと矛盾点がいっぱい出てくるじゃないですか。その辺を声高らかに上げるような場を作れるように要請出来るようにして頂きたいと思います。

議長　　これも答えにはなりませんが、タイムリミットが 11 月の中ですね、これに向けている訳ですね。そうすると時間的な猶予というのがほとんどありません。ですから本町だってもっと色んな意見をこのようにして皆の意見をよく聞いたうえで意思決定をしなければならないのに、会長専決でやらないといけないような、そんな暇のないやり方しか出来ないというのが実態なんですよ。それをさせているのは国です。私らは来年の３月とか秋でもいいんですがそれまでまだまだやりたいと、それは駄目です。さっき言おうか言わないかと思ったんですが、この役人は北海道選出の議員もみんな国会議員です。みんな良いと言ってますと。それから全国農業会議の会長も良いと言いました。というのはもう国の方ではもう良いと、色んな意見あるだろうけどもう良いと。ただ若干の文言の整理はあろうかと思いますが、この辺は全然変わりません。そこまで行ってます。ですから我々は本当に歯がゆい思いをするんですが、結論はそのようになろうと今向かっています。８月８日に北海道の意見が集約されて全国に持

	っていきますけども、持ってくことについては当然我々の声ですから持っていかないといけないのですけども、それによって閣議の決定内容が変更されるようなことは、個人的な見解ですが無いと思います。非常に遺憾な内容に、農業委員会だけではありませんね、JA もそのとおりです。
17 番	色々と閣議決定があるんですけども、言われることも最終段階まできているからと言う会長の見解も分かるんですけど、やっぱり末端で私たちはこうやって公選の中で選ばれて農業委員として地域の方達との信頼関係も持って農業委員として仕事をしているんですから、やはりそういう展開にしても今の制度をきちんと守っていくっていうことを、最後まで諦めないでやり続ける必要があるんではないかなと思いますけど。
議長	まさしくそのとおりです。４つにまとめた意見を本町から北海道に向けて、十勝農委連を挟みますけど、向けているという状況であります。それぞれ各委員さんはそれぞれの思いを持っているはずです。色んな質問もあろうかと思いますが、だいたい要約して何点か今質問もありましたし、私の個人的な見解も含めてですね、申し上げましたが、今森委員からお話がありましたように最後まで我々の意見として堂々と持ってくべき。まさしくそのとおりでありましてこの４点を了承願いたいと思います。よろしゅうございますか。それでは１点目の報告については以上で終わらせて頂きます。
議長	次に報告第２号「農地の賃貸借契約の合意解約通知の受理について」を議題といたします。報告第２号の１番と２番を説明いたします。
事務局	報告第２号「農地の賃貸借契約の合意解約通知の受理について」農地法第 18 条第６項の規定により合意解約通知があったので報告いたします。案件は議案書１ページの２件でございます。いずれも書類等が完備されておりましたので受理いたしました。以上で報告を終わります。
議長	ただいま報告第２号の１番、２番について説明をいたしました。質疑ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑がないようですので、報告第２号１番と２番は報告のとおり承認されました。
議長	次に、報告第３号「農地法第５条の規定による許可について」を議題といたします。報告第３号の１番を説明いたします。
事務局	報告第３号「農地法第５条の規定による許可について」農地法第５条の許可申請について、下記のとおり許可したので報告いたします。案件は議案書２ペ

	ージの平成 26 年５月 29 日、第 35 回総会で審議された１件でございます。内容につきましては記載のとおりでございます。なお、記載のとおり条件を付し平成 26 年６月 30 日付けで許可をしております。以上で報告を終わります。
議長	ただいま報告第３号の１番を説明いたしました。質疑ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑がないようですので、報告第３号１番については報告のとおり承認されました。

議長	次に、報告第４号「農地基本台帳整備に係る現況地目の確認について」を議題といたします。報告第４号の１番を説明いたします。
事務局	報告第４号「農地基本台帳整備に係る現況地目の確認について」農地基本台帳整備に係る下記の農地の現況地目について農地・採草放牧地以外と確認したので報告いたします。案件は議案書３ページの１件でございます。内容につきましては記載のとおりでございます。7 月 15 日の現地調査で農地・採草放牧地以外と確認いたしました。以上で報告を終わります。
議長	ただいま報告第４号の１番を説明いたしました。質疑ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑がないようでありますから、報告第４号の１番は報告のとおり承認されました。

議長	次に議案第１号「農業経営基盤強化促進法第 18 条の規定による農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。議案第１号の１番と２番を説明いたします。
事務局	【議案第１号１番と２番について、議案書をもとに朗読】
事務局	以上の計画要請の内容はお手元にございます、別添農業経営基盤強化促進法第 18 条調査書の１ページに記載されておりますとおり、経営面積、従事日数など農業経営基盤強化促進法第 18 条第３項の各要件を満たしていると考えます。以上で議案の朗読と説明を終わります。
議長	ただいま議案第１号の１番、２番について説明をいたしました。地区担当委員から補足をお願いします。
12 番	説明いたします。この案件は更新でございます。借主は意欲的に営農に取り

	組んでいるため今回の利用権の設定については問題ないと思います。以上で説明を終わります。
議長	それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑なしとします。採決をいたします。議案第１号１番と２番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。 【異議なしの声多数】
議長	異議なしとします。よって、議案第１号１番と２番は原案のとおり決しました。
議長	次に、議案第１号の３番を説明いたします。
事務局	【議案第１号３番について、議案書をもとに朗読】
事務局	以上の計画要請の内容は､別添調査書２ページに記載されておりますとおり、経営面積、従事日数など、農業経営基盤強化促進法第 18 条第３項の各要件を満たしていると考えます。以上で議案の朗読と説明を終わります。
議長	それでは、地区担当委員から補足説明をお願いいたします。
12 番	説明いたします。この案件は、平成 24 年 11 月に町公社が利用調整を行った案件でございます。譲受人は意欲的に営農に取り組んでいるため、今回の所有権移転については問題ないと思います。以上で説明を終わります。
議長	それでは、質疑を行います。ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑なしとします。採決をいたします。議案第１号３番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。 【異議なしの声多数】
議長	異議なしとします。よって、議案第１号３番は原案のとおり決しました。
議長	次に議案第２号「農地法第３条の規定による許可申請について」を議題といたします。議案第２号の１番と２番を説明いたします。
事務局	【議案第２号１番と２番について、議案書をもとに朗読】

事務局　　これらの案件は別添農地法第３条調査書１ページ、２ページに記載されておりますとおり、農地法第３条第２項各号に該当しないため許可要件をすべて満たすと考えております。以上で議案の朗読と説明を終わります。

議長　　それでは、地区担当委員から補足説明をお願いいたします。

17 番　　説明いたします。この案件につきましては本来地区担当委員は杉本委員でありますが本日欠席されておりますので私の方からご説明したいと思います。これらの案件は親から子への経営移譲に伴う使用貸借並びに借り換えでありまして周辺農地への影響はないと考えております。なお詳細につきましては事務局説明のとおりでございますので宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第２号１番、２番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長　　異議なしといたします。よって、議案第２号１番、２番は原案のとおり決しました。

議長　　次に議案第２号３番を説明いたします。

事務局　　【議案第２号３番について、議案書をもとに朗読】

事務局　　この案件は別添調査書の３ページに記載されておりますとおり、農地法第３条第２項各号に該当しないため許可要件をすべて満たすと考えております。以上で議案の朗読と説明を終わります。

議長　　それでは、地区担当委員から補足説明をお願いいたします。

11 番　　説明いたします。去る７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認して頂きました。周辺農地の影響はないと考えております。なお詳細については事務局説明のとおりでございます。宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第２号３番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長　　異議なしといたします。よって、議案第２号３番は原案のとおり決しました。

議長　　次に議案第２号４番を説明いたします。

事務局　　【議案第２号４番について、議案書をもとに朗読】

事務局　　この案件は別添調査書４ページに記載されておりますとおり、農地法第３条第２項各号に該当しないため許可要件をすべて満たすと考えております。以上で議案の朗読と説明を終わります。

議長　　それでは、地区担当委員から補足説明をお願いいたします。

21 番　　説明します。去る７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認いたしました。周辺農地への影響はないと考えております。なお詳細につきましては事務局ご説明のとおりでございますので宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第２号４番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長　　異議なしといたします。よって、議案第２号４番は原案のとおり決しました。

議長　　次に、議案第２号の５番について説明をいたします。

事務局　　【議案第２号５番について、議案書をもとに朗読】

事務局　　この案件は、別添調査書５ページに記載されておりますとおり、農地法第３条第２項各号に該当しないため、許可要件をすべて満たすと考えております。以上で議案の朗読と説明を終わります。

議長　　それでは地区担当委員から、補足説明をお願いいたします。

８番　　説明いたします。この案件につきましては後継者への生前一括贈与の所有権移転になりますので周辺農地への影響はないと考えております。詳細については、事務局の説明のとおりでございますので宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第２号５番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長	異議なしといたします。よって、議案第２号５番は原案のとおり決しました。

議長	次に、議案第３号「農地法第４条の規定による許可申請について」を議題といたします。議案第３号の１番を説明いたします。
事務局	【議案第３号１番について、議案書をもとに朗読】
事務局	この案件は、ロール乾燥庫等の建設を目的とする転用でございます。なお農地区分は農用地であります。農用地は原則不許可でありますが本件は農振農用地区域の指定用途への転用であることから問題ないと考えております。なお立地基準、一般基準等の詳細につきましては別添農地転用許可申請に係る審査表に記載されているとおりでございます。宜しくお願いいたします。
議長	それでは地区担当委員から、補足説明をお願いいたします。
21 番	説明いたします。去る７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認いたしましたが、周辺農地への影響はないと考えております。なお詳細については、事務局の説明のとおりでございますので宜しくお願いいたします。
議長	それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。 （発言なし）
議長	質疑なしといたします。採決をいたします。議案第３号１番について、原案のとおり決することに異議ございませんか。 【異議なしの声多数】
議長	異議なしといたします。よって、議案第３号１番は原案のとおり決しました。

議長	次に議案第４号「現況証明について」を議題といたします。議案第４号１番を説明いたします。
事務局	【議案第４号１番について、議案書をもとに朗読】
議長	それでは、地区担当委員から補足をお願いいたします。
５番	説明いたします。この案件につきましては地目変更登記を目的に証明を求めるものでございます。去る７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認して頂き、農地、採草放牧地以外ということでご確認を頂いております。宜しくお願いいたします。

議長　　それでは質疑を行います。ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第４号の１番について原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長　　異議なしといたします。よって、議案第４号１番は原案のとおり決しました。

議長　　次に、議案第４号の２番を説明いたします。

事務局　　【議案第４号２番について、議案書をもとに朗読】

議長　　それでは、地区担当委員から補足をお願いいたします。

24 番　　説明いたします。この案件につきましては地目変更登記を目的に証明を求めるものでございます。去る７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認して頂き、農地・採草放牧地以外ということで確認頂いておりますので宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。ございませんか。

（発言なし）

議長　　質疑なしといたします。採決をいたします。議案第４号の２番について原案のとおり決することに異議ございませんか。

【異議なしの声多数】

議長　　異議なしといたします。よって、議案第４号の２番は原案のとおり決しました。

議長　　次に議案第４号の３番を説明いたします。

事務局　　【議案第４号３番について、議案書をもとに朗読】

議長　　それでは、地区担当委員から補足をお願いします。

11 番　　説明いたします。この案件につきましては地目変更登記を目的に証明を求めるものでございます。去る、７月１日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認して頂き、農地・採草放牧地以外ということで確認頂いておりますので宜しくお願いいたします。

議長　　それでは、質疑を行います。ございませんか。

	（発言なし）
議長	質疑なしといたします。採決をいたします。議案第４号３番について原案のとおり決することに異議ございませんか。
	【異議なしの声多数】
議長	異議なしといたします。よって、議案第４号３番は原案のとおり決しました。
議長	次に議案第４号４番を説明いたします。
事務局	【議案第４号４番について、議案書をもとに朗読】
議長	それでは地区担当委員の補足をお願いいたします。
８番	説明いたします。この案件につきましては地目変更登記を目的に証明を求めるものでございます。去る、７月 15 日、香西委員、田邊委員、事務局とで現地を確認して頂き農地・採草放牧地以外ということで確認を頂いておりますので宜しくお願いいたします。
議長	それでは、質疑を行います。ございませんか。
	（発言なし）
議長	質疑なしといたします。採決をいたします。議案第４号４番について原案のとおり決することに異議ございませんか。
	【異議なしの声多数】
議長	異議なしといたします。よって、議案第４号４番は原案のとおり決しました。
議長	本日の議案は以上であります。以上をもちまして第 37 回農業委員会総会を閉会いたします。

上記の会議の顛末を記たることに相違ないことを証明するためにここに署名、押印する。

議事録署名委員

１番　　印

２番　　印

議長　　印